



### 平成 25 年度ろう教育を考える 全国討論集会 in 長崎へ参加して

来年 8 月 2 日～3 日、東京集会在開催されます。都サ連も東京集会実行委員会に参加していますので、長崎集会の視察に行ってきました。お盆最終日の 8 月 16 日～18 日に開催されましたが、全国高等学校総合体育大会と日程が重なったために、宿舎や飛行機の手配が大変でした。東京からは実行委員 7 名が参加しました。

長崎集会参加者は要員を含め、411 名でした。長崎は人工内耳の普及が進んでいることもあり、シンポジウムでは熱心な話し合いがなされました。一方分科会では、明晴学園の教育について、校長の榎(かや)陽子先生がお話をされましたが、会場は立ち見が出るほどの盛り上がりでした。

特に印象的だったのは、通訳者の会も全通研支部もサークルも長崎聴覚障害者協会と一丸になって、長崎集会の運動を支えている様子でした。

来年の東京集会の成功のために、都サ連も頑張りたいと思います。皆様のご協力をお願いします。

#### 【東京集会実行委員会構成団体】

東京都聴覚障害者連盟、ろう・難聴教育研究会、東京都手話サークル連絡協議会、東京都手話通訳問題研究会  
(文責 高田)

### 福祉対策会議報告

#### (9 月 2 日)

- ・東聴連は、11/17(日)第 60 回東京都聴覚障害者大会(兼法人 20 周年祝賀会)、11/30(月)課題対策会議(福祉セミナーと災害関係)の予定。
- ・中難協は、8 月 7 日に「認定非営利活動法人」の認可を得た。
- ・2014 年 8 月 2～3 日「ろう教育を考える全国討論集会 in 東京」開催に向け、実行委員会が活動中。それに先立ち、2 月 1 日「ろう教育フォーラム in 東京」(於:日大)を開催予定。
- ・東聴連、中難協、派遣センターは、9 月中に都議会政党派にヒアリングを実施。
- ・地域学習会。北区からの依頼には、11/10(日)派遣センター高岡所長と福祉対策委員が担当。

#### (10 月 7 日)

- ・東聴連は、10/6(日)臨時評議委員会・総会にて役員改選を行った。公益法人化に伴い、役職名称が変更され、「役員」「監査」に。
- ・「スポーツ祭東京 2013」が 9/28～開催中。内、障害者スポーツ大会は 10/12(土)～14(月)。
- ・中難協は、10/28(日)「東京都中途失聴・難聴者の集い」を開催予定。
- ・東通研は、9/7(土)東聴連と共催で、東通研集会を開催した。参加者 81 名。
- ・11/29～12/1 手話通訳者養成担当講師研修会を開催。東京枠は 6 名。於:千葉(関東ブロック)
- ・11/22～24 情報アクセスビリティ・フォーラムに協力を。新企画を、ぜひ、成功させよう。
- ・障害者総合支援法施行により、都の派遣制度が前進することに期待している。
- ・活動資金のためにも、「ニーズ調査の報告書」の活用と「WL パンプ」在庫の販売に協力を。
- ・テーマパークのアトラクションに、障害者を拒否するということが起きている。東聴連青年部が実態調査を開始。今後の取り組み方を検討したい。
- ・全国で手話言語条例成立へ向けた動き(鳥取県、石狩市、白山市)がある。東京でも区市と共に運動を進めたい。まずは、12月に開催予定の地域担当者会議にて学習する。

(文責:委員 林)

(注) 福祉対策後の 10 月 8 日に、全国初の手話言語条例が、鳥取県議会本会議で可決されました！  
(高田)

## 参政権保障委員会報告(2013/9/24)

参政権保障委員会では、毎月第3月曜日に定期会議を開催しています。9月の会議では、7月の参政権放送ビデオ上映会の反省と、今後の運動に確認を行ないました。

### ●政見放送のビデオ上映会の反省

「参加者が少ない」「PRが足りなかった。PR期間が短い」「準備段階でミスがあった」「通訳者の立ち位置に問題があった」などの反省が出されました。今後のビデオ上映会の活動に生かしていきたい。

### ●福祉対策会議と委員会の位置づけ

福祉対策会議と参政権保障委員会の位置づけの確認が行なわれました。専門委員会である、との確認が行なわれました。

### ●参政権保障委員会の体制に関して

参政権保障委員会の内部体制をしっかりと行うことで、体制の確認が行なわれました。今まで、「事務局」というものがはっきりしていなかったため、きちんと事務局をつくり運営を行なっていくことになりました。

次回の会議は2013/11/18(月)の予定

(事務局 三村)

## 自立支援センター運営委員会報告

9月14日(土)10～12時

10月は障害者スポーツの祭典のため休会

(10月10日(木)合同会議)

次回11月16日(土)10～12時

### ○ふれあいサロン

12月14日(土)18時から

ろう・健聴問わず、みなさんぜひ一度参加してください!

12月は楽しい企画を予定しています

ビール等、おつまみの準備があります。

(10月は障害者スポーツの祭典のためお休みしました)

### ○特別講演会第2弾

テーマ「生い立ちと ろう学校教員の経験談」

日時: 11月23日(土・祝)14時～16時15分

場所: 渋谷区リフレッシュ氷川集会室

講師: 戸田康之氏

参加費: 1000円

★お申し込みは自立支援センターへ

FAX: 03-5464-6059

(文責 杉石)

## 広報班の活動報告

### サークル訪問記

～「早稲田大学手話さあくる訪問記(2回目)」～

7月1日(月)夕方18時頃、「早稲田大学手話さあくる」の2回目の訪問に、山崎さんと2人で行きました。なぜ2回目かと言うと、前は春休み期間中で、しかも私一人での訪問だったため普段の様子を掴みきれなかったからです。

場所は、高田馬場駅から徒歩20分程、早稲田大学戸山キャンパスの一室。前回と同じ学生がまた校門まで迎えに来てくれました。

その日の企画は「ロールシフトについて」。健聴、難聴あわせて20人強の学生達が集まり、担当学生2名の司会での学習会でした。

まず最初に、「この間バイト先の店長に怒られちゃってさー」から始まる司会2人の寸劇の中で”店長”と”自分”のロールシフトのお手本がみせられ、3グループに分かれた後、ジブリ映画のワンシーンの会話文を題材にそれぞれたっぷり相談と練習をして、その発表の時に表現されたジブリ映画のタイトルを他のグループが当てるといった流れでした。

健聴と難聴、先輩と後輩も平等にグループ分けされ、相談の様子も和気あいあいとしながらポイントをきちんとおさえていて、発表も迫真に迫る演技?で笑いあり、考えさせられたりで、時間があつという間に過ぎて行きました。

最後の締めの際に、都サ連の紹介と、訪問の目的の説明、開催日が迫る自立支援センターまつりなどの案内をさせてもらいました。

その日は、地域の手話サークルに通っている大学OBの方が、たまたま同じく自立支援センターまつりのお知らせにいらしていました。

学習会終了後の恒例の夕食会にも、前回同様参加させてもらいました。メインの学習会と同じくらい熱が入っていて、その様子は地域の手話サークルにも通じるところがありました。

早稲田大学手話さあくるは、学祭での出展の代わりに自ら主催する発表会があり、しかも友人家族を呼んで毎回満員なのだそうです。その練習に集中するために、今回のような学習会は春から夏休み過ぎまでの期間限定企画だそうです。

難しい課題にも怯まず取り組む姿勢や、サークル員同士の繋がりがよく伝わってくる、早稲田大学手話さあくるでした。

(文責 広報班 大木)